

## 研究主題

主体的に考え、表現する児童を育成するための授業改善の在り方  
ー「読むこと」における言葉による見方・考え方を働かせた実践を通してー

### 1 学校の概要

本校は、明治7年に設立され、今年度で創立151周年を迎える。本多忠勝の居城であった大多喜城を中心に形成された城下町にある、歴史と伝統のある学校である。

学校教育目標「夢や希望をもち、元気に学ぶ児童の育成 ～ふるさと 大多喜 大すき～」の下、大多喜城を望む校舎で、209名の児童が学んでいる。

### 2 研究の概要

#### (1) 児童生徒の実態と課題

##### ア 全国学力・学習状況調査の結果から

令和5年度までの全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、記述式の設問の正答率が特に低く、「読むこと」の学習過程における、「構造と内容の把握」、「精査・解釈」、「考えの形成」に課題があった。令和6年度の調査では記述式問題などで改善が見られた他、「構造と内容の把握」に係る設問では、文章の構造を理解し、内容を正確に把握する力や、登場人物の関係や物語の展開を正確に捉える力が身に付いていることが分かった。「精査・解釈」に係る設問では、文章の細部を読み取り、深く解釈する力や、文章の意味を深く理解し、自分なりの解釈を導く力が身に付いていることが分かった。一方で、「考えの形成」に係る設問では、登場人物の行動や心情を理解し、自分の考えを深める力が身に付いていないことが分かった。また「共有」に係る設問では、わかりやすく自分の考えを伝える力や、伝えたい内容を短く整理して表現する力が身に付いていないことが分かった。

##### イ 指導の実態から

国語では「資質・能力の系統を意識した授業ができていない」という指摘があった。算数の場合には、既習事項を想起させる発問をするなど、資質・能力の系統を意識して指導にあたる姿が見られ、児童も既習事項を活用しながら、本単元で身に付けたい資質・能力を身に付けている。

しかし、国語の場合は、資質・能力の系統が意識できておらず、児童の視点では、教材が変わっても同じ学び方をしているように感じているのではないかという実態が指摘された(図1)。



図1 国語の授業の実態

(2) 学力向上のための取組

ア 研究仮説

「言葉による見方・考え方」を働かせ、学び合うことで主体的に考え表現することができるだろう。

イ 目指す児童像

(ア) 主体的に考える児童

単に見方・考え方を意識するだけでなく、学びの系統も意識することで、前の単元で学習したことを次の単元に生かす姿。

(イ) 主体的に表現する児童

教師からの「新たな視点を与える発問」をきっかけに、学び合いの中で、進んで交流し考えを深めていく姿。

ウ 授業改善の視点

- ①資質・能力の明確化
- ②新たな視点を与える発問と学び合い
- ③「言葉による見方・考え方」を基にした振り返り

エ 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

「見いだす」場面では、資質・能力を明確にすることで、学習の見通しをもたせる。「自分で取り組む・広げ深める」場面では、「言葉による見方・考え方」を働かせ、主体的な読みを進める中で、教師の新たな視点を与える発問をきっかけに、学び合いの充実を図る。「まとめあげる」場面では、「言葉による見方・考え方」を基にした振り返りを行うことで、働かせた「見方・考え方」を自覚させ、次の学習に生かせるようにする（図2）。



図2 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

オ 具体的な手立て

(ア) 学習系統表の作成

単元で身に付ける資質・能力や働かせたい見方・考え方を系統表にまとめ、指導に生かしている(図3)。「読むこと」の学習過程との関連を色別に示すことで、これから学習することが、構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有のうち、どの系統上にあるのかを明らかにすることで、より系統的な学習になるようにしている。

国語科「読むこと」学習系統表									
説明的文章									
学年	教材名	身に付けたい読み方	言葉による見方・考え方	学習用語	学年	教材名	身に付けたい読み方	言葉による見方・考え方	学習用語
第1学年	つばみ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える	見 「問い」の文と「答え」の文に気を付けて読む 考 「問い」の文と「答え」の文に気を付けて読む	第4学年	思いやりのデザイン アップとヘルズで 作る	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える	見 挙げられている例が何を説明するものか 考 筆者がどのような組み立てで考えを述べているのか捉える	対比	
	うみの かくれんぼ	文章の中の重要な語や文を考えて選び出す	見 大事な言葉を見つけてから読む 考 何が書いてあるか捉える		本業につなぐ 二語のふりかえり を伝えよう	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する	見 中心となる語や文、表を使って整理する 考 「まとまりごと」に、中心となる語や文を使って短くまとめる。		
	じどう車 くらべ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える	見 説明の順に気を付けて、まとまりごとに、「しごと」と「つくり」を読み分ける 考 説明の順に気を付けて、まとまりごとに、「しごと」と「つくり」を読み分ける		風船で うちゅうへ	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く	見 文章全体から、自分の興味に沿って中心を捉える 考 人によって、文章への着目の仕方や、感じ方が違うことに気づく		
	どうぶつ の赤ちゃん	文章の内容と自分の経験を結び付けて、感想をもつ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有する	見 比べて読み、特徴の違いなどを考え、読み取って分かったことを友達に伝え合う 考 比べて読み、特徴の違いなどを考え、読み取って分かったことを友達に伝え合う		見 立てる/ 言葉の意味が 分かったこと	事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	見 文章の中に表れた、原因と結果の関係 考 表現や構成に注意して、文章の要旨を捉える	要旨 構成 事例	
第2学年	たんばばの ちえ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える	見 順序が分かる言葉 考 どんな順序で説明しているか確かめる	第5学年	田舎者が 教えてくれること	目的に応じて、文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけ、論の進め方について考える	見 原因と結果の関係 考 文章と資料を結び付けて読む		
	どうぶつ園 のじゅうい	文章の内容と自分の経験を結び付けて、感想をもつ	見 誰が、何をしたのかが分かる言葉 考 自分の知っていることと比べる		想像力の スイッチを 入れよう	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる	見 事例と筆者の意見との関係 考 自分の知識や経験と関係付けながら文章を読み、考えたことをまとめる		
	紙コップ花火 の作り方	文章の中の重要な語や文を考えて選び出す	見 順序が分かる言葉 考 大事なことが書かれている文がどれか考える		実情から 楽しい/ 嬉しいの 瞬間と 心の時間	事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	見 主張と事例の関係 考 主張と事例関係から、文章全体の構成を捉える		
	ロボット	文章を読んで感じたことや分かったことを共有する	見 関連する本を選ぶ 考 読んで分かったことを伝え合い、友達の見方を知る		「鳥獣戯画」を 読む	目的に応じて、文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけ、論の進め方について考える	見 事実や筆者の評価を表す言葉、文末表現 考 論の展開や表現、絵の示し方の効果を考える		
第3学年	文様/ こまをまじ	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える	見 文章全体と、中心となる部分の関係 考 段落ごとの内容と文章全体の組み立てを捉える	第6学年	悪い 段落	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる	見 筆者の論の展開の仕方、表現の仕方 考 複数の文章を基に考えたことを伝え合い、自分の考えを深める		
	すがたを かえる大豆	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する	見 それぞれの段落の中心となる言葉や文 考 図や表を使って例を整理する		「読むこと」の 学習過程との 関連	構造と内容の把握 精査・解釈 考えの形成 共有			
	ありの行列	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く	見 説明のつながりを表す言葉 考 文章の内容や説明の進め方について考えをもつ		「考える」とは	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる	見 筆者の論の展開の仕方、表現の仕方 考 複数の文章を基に考えたことを伝え合い、自分の考えを深める		

光村図書「令和6年度版 小学校『国語』 光村の『国語』構造と系統-小・中9年間を見通して」を基に作成

図3 国語科「読むこと」の学習系統表

(イ) 新たな視点を与える発問と学び合いの充実

教師からの発問を、見方・考え方を意識させるだけのものから、児童に「新たな視点を与える発問」とすることで、資質・能力に迫る思考が促されるようにし、さらに学び合いの充実を図ることで、考えがどんどん深まっていく姿を目指す(図4)。



図4 新たな視点を与える発問によって考えが深まる姿

